



ほんべつ 議会だより

No.83

平成29年12月1日発行



森のめぐみ すてきでしょ!!

11月5日 銀河の里ツリーフェスティバル（本別公園）

第3回定例会

副町長に大和田総務課長を選任

平成29年第3回定例会は10月3日に開会し、副町長の任期満了に伴う次期副町長の選任が行われました。また、町道上押帯西18号道路の改良工事に向けての早期取組みの陳情、一般会計他7会計の補正予算などを審議しました。

審議された内容は次のとおりです。

副町長の選任

平成29年10月29日任期満了に伴う副町長職について、町総務課長を選任する提案がされました。

主な質疑は次のとおりです。

問

①税に関する不祥事があった時の元上司だった。町民の皆さんの信頼を回復していくために先頭を担うのは難しいのでは。

②町長は、職員と一丸となり町民との信頼回復に努めるとしているが。

答

①まちづくりに必要な貢献をしている大事な人材。上司の期間は

ありましたが、これからの事業を進めるうえで、最適任と判断しました。

また、一連の事件で検察、警察のやりとりを含めて、全容解明に最大限の努力をしており、これからも中枢を担う必要な人材であります。

②職員と気持ちを一つにして信頼回復に努力するように、私どもが責任を持ってしっかり対応します。

問

副町長以下職員は全員年下となる。周りの意見を聞くことがとても重要になってくるが。

答

今まで同様に、職員とコミュニケーションを取って対応していきま

す。

提案している副町長は年下となりますが、スクラムを組んで、しっかりと行政を担っていきます。

採決の結果

賛成者5人、反対者5人の同数となり、議長裁決の結果、同意されました。

一般会計補正

冬期使用の焼き砂

焼き砂の購入費として予算計上をしているが経過は。

答

例年、12月の補正予算で対応していましたが、近年11月に雪が降り道路等が凍結するケースがあるため、10月補正で対応しています。

消費者被害防止対策

問

悪徳商法が巧妙化しているが、町内の被害は。また、啓発グッズの内容は。

答

電話での相談は受けていますが、実際に被害があったという話は聞いていません。

啓発グッズは、消費者被害の防止ステッカーを作製し、広報に折り込むなどして配布します。



陳情書

町道上押帯西18号道路の改良工事に向けての早期取組みの陳情

平成29年6月定例会において産業厚生常任委員会（山西委員長）に付託された標記陳情は、委員会を延べ9回開催し、次の4点を中心に協議を行いました。

①「現地調査」を延べ8回行い、通行車両、道路状況等の確認。

②「町道の整備計画等の状況把握」のため、町担当課より聞き取り調査を実施。

③上押帯自治会代表住民5人と意見交換を実施。

（上押帯地区で出前委員会）

④「道路整備の必要性の検証」を行い、道路の利用状況、通行上の問題点、緊急車両が通るルートなどの点について意見を出し合いました。

また、委員間の表決の考え方や意見を出し合う、「自由討議」を行い、議論を深めました。

委員会での採決結果は、採択2人、趣旨採択2人となり、委員長採決により趣旨採択となりました。

陳情審査結果報告は定例会初日に行われ、委員会の意見として「本町の財政事情から早期着工は難しいと考えられるが、次期の総合計画に盛り込むことを望む」と報告がされました。

本会議での採決は、委員長報告のとおり全会一致で「趣旨採択」となりました。

趣旨採択とは…



請願（陳情）の願意は十分に理解できるが、町の財政事情等から当分の間は実現が不可能である場合等に、「趣旨には賛成」という意味の議決をすることがあります。その趣旨のみ取り上げることから「趣旨採択」と呼んでいます。どちらかという採択に近い。

平成29年度各会計補正予算

会計	(補正額) 補正後の額	主な内容
一般会計	(15万円)	高齢者福祉振興基金積立 (寄付金)(臨時会)
	(44万8千円) 67億8,500万7千円	・衆議院議員選挙事務費 ・とちぎ東北部広域連携事業 ・消費者対策事業 ・地方道路整備事業の減額 (定例会)
特別会計	(5,541万3千円) 14億7,115万5千円	・基金積立(保険給付費支払準備金) ・療養給付費負担金等精算償還金 (臨時会)
	(32万5千円) 1億2,259万2千円	決算確定による繰越金精算 (定例会)
一般会計	(4,045万5千円) 10億1,099万2千円	・国庫補助金等精算償還金 ・決算確定による繰越金精算 (臨時会・定例会)
	(60万4千円) 2億9,017万4千円	施設等備品購入(寄付金) (臨時会・定例会)
特別会計	(68万3千円) 1億4,050万8千円	勇足浄水場沈殿処理水検水ポンプ修繕 (定例会)
	(441万4千円) 5億3,633万6千円	個別排水処理施設新設基数の増 (定例会)
水道事業会計	(200万円) 2億8,259万8千円	水道施設災害復旧事業調査設計委託 (定例会)
病院事業会計	(157万円) 14億7,537万3千円	医療機械備品修理 (定例会)

※第4回臨時会含む



上押帯道路の現地調査

人権擁護委員候補者に 福家立雲氏

(朝日町) 再任推薦

12月31日に任期満了となる人権擁護委員の推薦は「適任」と答申しました。

教育委員会委員に 遠山倫子氏

(山手町) 新任

10月19日に任期満了となる教育委員会委員の任命に「同意」しました。

一般質問

5人の議員から8問



行政

町長6期目の政治姿勢は

答 町民との対話、今後もしっかり進めたい



阿保静夫議員

阿保議員 町長6期目の政治姿勢について伺います。

① 町民の皆さんとひびを交え語り合える機会として「町長がおじゃまします」等の開催が大切だと考えますが、
② 公務員の原点に返り、悩みや問題点を話し合える役場の職場づくりと、「住民が主人公」のまちづくりの推進を図るべきと考えますが、
③ 「福祉でまちづくり」は人口減対策にもつながる重要な施策と考えます。今後の課題等を伺います。

高橋町長

① 就任当初から100以上の団体、サークルと「町長がおじゃまします」で対話をしてきました。今後もしっかり進めたいと考えます。
② 職員が高い意識で職務に当たるように意識の醸成に取り組み、また、風通しの良い職場づくりを目指します。
③ 介護関連事業所の職員数は町と民間合わせ、約250人と大きな雇用で、人口減対策の一翼も担っています。課題は担い手、介護人材の確保で、
地域包括ケア
研究所とも連携し人材確保に努めていきます。

6期目スタートの決意は

答 しっかりと原点を忘れず臨みます



高橋利勝議員

高橋議員 町長は6期目の町政執行にあたってどのような臨む考えか、以下2点について伺います。

① 町民の間には多選による慢心さがあるのではという声があるが、どのように受け止めて町政執行に臨む考えか。
② 元職員による相次ぐ逮捕、起訴は町民のみならず、不信を募らせています。町民のみならず、不信を取らないで、誠実な姿勢で職務に臨むことは大変重要と考えています。常に町民のみなさんとともに協働のまちづくりを進めていきます。

高橋町長 ① これまで就任以来、おごりを持ちながら町政のかじ取りをしたつもりはありませんが、6期目をスタートするにあたり、しっかりと原点を忘れず自分に与えられた使命を見つめ直し、職務を果たしていきたいと考えます。

施政方針を述べる高橋町長



町長は6期目の町政執行にあたってどのような臨む考えか、以下2点について伺います。

① 町民の間には多選による慢心さがあるのではという声があるが、どのように受け止めて町政執行に臨む考えか。
② 元職員による相次ぐ逮捕、起訴は町民のみならず、不信を募らせています。町民のみならず、不信を取らないで、誠実な姿勢で職務に臨むことは大変重要と考えています。常に町民のみなさんとともに協働のまちづくりを進めていきます。

地域包括ケア研究所とは

諏訪中央病院名誉院長の鎌田實先生や東大阪大学の鷹野一美教授が中心となり、平成28年10月に設立。研究所は、①安心の医療・福祉の導入、②安心して子育てできる社会、③創造性の高い仕事ができる環境を地域社会に定着させることに取り組んでいます。

ものしり博士から



これからのまちづくりに臨むにあたって

【答】 将来に夢と希望の持てるまちづくりに邁進します



小笠原良美議員

小笠原議員 ①農業振興基金を活用し、新規就農・後継者対策に取り組むとありますが、今までとの違いは。

②昨年6月、収納業務不適切処理問題の発覚以降、町民の皆さんから町長にはもっと町の中に留まってまちづくりを専念して欲しいとの声があります。

③本別高校間口対策、アピールする対象者の幅を広げては。

高橋町長 ①農業大学の卒業生の3割程度は非農家の人で、その中には将来農業を目指したいという人がいます。そういう人材の育成と一緒にさせて欲しいと、農大から提案があり、今後、JAとも具体的に協議をし、後継者の育成に力を入れていきたい。

②そういうご意見もあることをしっかりと受け止め、私の一つ一つの行動が本町のために役立つよう、今後のスケジュールを決めながら役割を果たしていきます。

中野教育長 ③本別高校が主催した本高進路・進学指導、来年も開催されれば、中学生や小中学校の保護者にもPRして、参加いただく努力をします。

元職員の業務上横領(再々逮捕)について

【答】 納税の相談窓口の設置を検討します



大住啓一議員

大住議員 元町職員は、5月11日に地方税法違反、5月23日に加重収賄で逮捕され、更に8月14日に業務上横領で逮捕・起訴されています。

不納欠損処理をしていたのは、極めて悪質であると思います。町民の皆さんへの信頼を失った事など、町に損害を与えています。町として何らかの法的手段をとるべきだと思いますが、今後の対応を伺います。

高橋町長 今回の事件は、納税者に対する差し押さえなど、多くの権限を与えられている町税吏員という立場を利用した事件であり、不納欠損などの制度を悪用した極めて悪質な事件と捉えています。

税が納付されているか不安な町民に対し、相談窓口の設置を検討し、また、町がとるべき法的手段については、弁護士と相談し対応します。



高橋町政6期目スタート

横領した税金は、不納欠損処理をしたとの報道があります。不納欠損は、納入期限から5年経過すると消滅するほか、執行停止などがあると認識しています。預かった税金を町に納めず徴収できなかったとして、



福祉・暮らし

教育、子育て支援の充実は

答 子どもの未来応援制度の創設など支援施策を講じます



藤田直美議員

藤田議員 ①人口減少に歯止めをかけるには、定住、移住の促進、子育てと教育環境の充実などが重要と考えますが、6期目の町政運営にあたって

の新たな取り組みは。

②発達障がいとして気づくことは、4歳から5歳が多いため、5歳児健診を取り入れ、就学前の療育や育てにくさを感じている保護者に気軽に相談できる機会を作っては。

③老朽化した学童保育所について施設整備、又は旧ことばの教室を使用する考えは。

高橋町長 ①総合計画と財政状況の調和を図りながら、子どもの未来応援制度の創設など、様々な分野で重点的かつ効果的な予算配分を行います。

②認定こども園やへき地保育所へ赴くキッズサポートなどの訪問事業や、児童相談所の巡回相談において、日常的に子育てに不安を感じる保護者の相談を受ける体制が構築されています。5歳児健診が有効であるか研究をしていきます。

③放課後の児童の安心・安全な居場所づくりは重要な政策です。現在調査中で早期に移設、あるいは現施設の改修のどちらかを判断したい。



農業

農業の振興について

答 基盤整備に力を入れ、地籍測量は平成30年度までに結論を出したい

大住議員 農業振興を図るためには、基盤整備事業の推進と地籍測量の実施が必要と思いますが、考え方を伺います。

①近年の異常気象による台風の多発や、ゲリラ豪雨による被害が多くなっています。降雨災害を解消するには、農地の排水機能向上を図り、生産性を高めることが急務であると思います。基盤整備事業の推進に対する考え方を伺います。

②地籍測量を行なうことにより、農地の区画を確定し、集積事業等を行なうことにより、生産性が高まります。いつ頃実施する考えなのか伺います。

高橋町長 ①基盤整備の必要性、特に暗渠排水には、一層力を入れていかなければと思っ



豊作が期待されるビート収穫

ています。基盤整備の要望が93戸の農家から1,000ha出てきました。平成31年度からの事業実施に向けて手続きを進めています。

②地籍測量は、国の動向、経済状況を勘案した上で、平成31年度に開始できるかどうか、来年度には結論を出したいと思っています。



教 育

スポーツ指導員等の強化で本別高校支援を

答 日本ハムに要請活動しているところ

阿保議員 本別高校、「平成30年度は2間口」とのこと。支援策強化にあらゆる手立てが必要と考えます。

① 紋別市では、元プロ野球選手を指導員として高校へ招き、入学者が増加しています。本町においてもスポーツ、文化クラブ活動共に、可能性の検討をすべきと思いますが。

② 中学生の方々への意向調査は重要です。中学生の皆さんが何を高校選択の要素としているのか、率直につかみ、できる対応をすべきと考えますが、見解を伺います。

中野教育長 ① 紋別市でのお話をいただきましたが、本町も本別中学校野球部の保護者からの要望もあり、日本ハムに要望活動しているところで

② 町内の中学生全員にアンケート調査を実施。その結果、高校に望むことは、部活動指導者の技術向上24%、経済支援22.5%、学習支援が18.4%などです。アンケート結果を受け今後、無料英語塾開設など予定しています。



本別・勇足中学校野球部

本町のインクルーシブ教育は

答 特別支援学級を設置し進めています

高橋議員 文科省は2013年からインクルーシブ教育を進めています。そこで以下2点について伺います。

① インクルーシブ教育のシステムは、障がいのある者と障がいのない者がともに学ぶ仕組みと言われていますが、本町における小中学校のインクルーシブ教育の取り組みの現状は。

② 真のインクルーシブ教育実践のためには、状況によっては、排除されかねない特別な教育的ニーズをもつ子どもたちを排除しない学校づくり、学級づくりが求められています。こうした考えは、いじめや不登校をなくすことにつながるのでは。

中野教育長 ① 本町におきましては小中学校5校合わせまして、現在16の特別学級を設置し、インクルーシブの

理念に基づき色々な場で通常学級の生徒とともに学んでいます。

② インクルーシブ教育を進めていくことにより、学習面はもろろんのこと、優しさや思いやる心が養成され、いじめや不登校の未然防止につながると考えています。



障がいのある子もいない子もともに学ぶ

インクルーシブ教育とは

人間の多様性の尊重等の強化、障がい者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下で、障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶ仕組みのことです。



ものり博士から

意見書

第3回定例会では4件の意見書が提出され、原案のとおり可決されました。可決されました意見書は、衆参議院議長、内閣総理大臣など関係機関へ送付しました。

【要旨掲載】

教職員の長時間労働是正を求める意見書

1、教職員の長時間労働是正に向けた法整備を行うよう国に働きかけること。
2、超勤解消策を早急に講ずるとともに、教職員の勤務条件の改善を図ること。
3、部活動を社会教育に移行するよう国に働きかけることなどを要望します。

提出者
黒山久男



「全国規模の総合的なAI政策の根拠となる新たな法律」の早期制定を求める意見書

これまでの歴史的経緯や、今後、AI政策を確実に推進していくために、国が主体となった総合的なAI政策を、本道のほか、全国を対象に推進していく根拠となる法律の検討を進め、早期に制定するよう強く要望します。

提出者
高橋利勝



適正な地方財政計画の策定を求める意見書

地方自治体の基金は、災害の復旧・復興や住民の福祉向上のために必要な事業に対応できるよう、厳しい財政事情を抱えながらも財政支出の削減等に努めながら積み立てたものであり、これを地方財政計画へ反映しないことを求めます。

提出者
高橋利勝



林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

地球温暖化防止、林産物の供給等、森林資源の循環利用を進める必要があることから森林環境税（仮称）の早期の創設、森林整備、治山事業の財源確保、加工、流通、利用までの支援措置の充実などを国に求めます。

提出者
山西三夫



行政報告

第3回定例会において、町長から行政報告がありました。（抜粋）

第3回定例会

平成29年度普通交付税の算定結果

7月25日に総務省から算定結果の通知が示され、道内178市町村のうち168市町村で減額となりました。

本町では、対前年比5.0%、1億4,117万2千円減額の26億6,925万8千円となっています。

本別町元職員起訴に係る第1回公判以降の経過

元職員は、第1回公判（7月10日）で地方税法違反（情報漏えい）及び加重収賄の容疑について、その起訴内容を認めています。

その後、9月4日に業務上横領の罪で追起訴され、第2回公判（9月11日）及び第3回公判（9月25日）では、平成22年10月から平

成26年8月頃までの間、町内の住民から徴収した税金212万6千円を着服したことを認めています。

更に9月26日には、平成23年11月頃、町内の住民から徴収した税金12万5,400円を着服したとして業務上横領の罪で追起訴されました。

町では、支給された退職手当の返納請求について、北海道市町村職員退職手当組合と実務協議を開始しています。また、町のとるべき法的手段等についても弁護士と協議をしながら、しっかりと対応していきたいと考えています。

仙美里地区高齢者向け住宅の整備

平成27年6月に策定された「本別町特別養護老人ホーム・養護老人ホームの在り方に関する基本構想」では、本別町社会福祉協議会が運営する勇足「ゆうあいの里」、仙美里「陽だまりの里」の小規模多機能型居宅介護事業所に併設して、高齢者向け住宅の整備を計画してい

ます。

特に、仙美里地区に計画している高齢者向け住宅では、「陽だまりの里」を利用されている方で高齢者向け住宅への入居を希望されている方も多く、また、町長と社会福祉協議会役員との懇談会においても早期整備が要請され、地域からの期待も大きいことから、来年春の開設を目指して取り進めます。



陽だまりの里に併設される高齢者向け住宅整備予定地

一般会計など9会計の決算を認定

9会計の総支出額は104億9千6百万円、一般会計は前年度比4億2千6百万円増の7億9千7百万円で認定

第3回定例会で付託された平成28年度各会計決算審査特別委員会（大住委員長他9人、※議長・議選監査委員を除く）は10月18日、19日に開催し、各委員から86項目の質疑があり、審査の結果、9会計の決算を認定しました。主な審議内容は次のとおりです。

ふるさと納税

問 ふるさと納税を増やすためにはリピーター率が重要になるが、割合は。

答 リピーターまでは調査していませんが、今後も観光協会等と協力しながら、喜ばれる返礼品の調達に努め、リピーターを増やす取り組みを進めたいと考えています。

ストレスチェック業務委託

問 役場職員にストレスチェックを実施したとあるが、その後の対応は。

答 現在は、アナログ無線を使用していますが、数年後には使用できなくなります。老朽化もしているため、更新にあたっては早急に対応し、全町的に行うよう考えています。

防災行政無線

問 国の指針に基づき実施しました。全職員にアンケート方式で54項目を調査し、そこで高ストレス者と判定された場合、本人の同意を得て、産業医のカウンセリングや心理カウンセラーへの相談とつなげていきます。

地方バス路線運行維持対策

問 当初予算から約300万円増となったが、28年度の状況は。

答 運賃収入、国・道からの補助金、帯広市から陸別町までの沿線自治体の補助金で運行しています。増額については、運賃収入の減、利用者が減少すると国・道の補助金が減額になることなどにより、沿線自治体の負担が増しました。



現在使われている同報無線受信機

生活維持路線運行

問 本別・浦幌線バスの利用状況は。

答 延べ利用者数は1万4,479人。そのうち高校生が1万3,769人、実人数は31人となっています。



本別・浦幌線バス

再生可能エネルギー

問 バイオガスの利用の考え方は。

答 28年度は、家畜ふん尿利活用対策協議会（事務局・農協）で、売電の可能性、消化液の利活用問題など、可能性調査を実施しました。畜産農家の要望等を含めて、関係機関等と協議し進めたいと考えています。

地域の足の確保

問 循環バス、へき地患者輸送バスの利用実績は。

答 循環バスは1万3,313人、へき地患者輸送バスは1,742人です。循環バスは27年度より2,700人ほど減っていますが、国保病院の外来患者が減少していることも要因の一つと考えられます。引き続き、利用しやすい体系の維持に努めていきます。

ドクターヘリ運行

問 28年度は、ドクターヘリ関連の支出がなかったが、加入時のみ負担金を支払うのか。

答 27年度に加入時負担金、約132万円を支出しています。加入後は、本別町民が利用しても負担金は発生しません。



ドクターヘリ発着場（勇足除雪ステーション）

心の健康相談

問 こころの“ほっと”相談の実績は。

答 利用状況は、実施回数24回、相談件数延べ36件、実人数14人となっています。

乳幼児等医療助成制度

問 制度の実績と申請の流れは。

答 対象者が762人、約1,922万円を助成しています。十勝管内では、病院窓口で乳幼児カードを提出すれば無料となります。十勝管外では、一度病院で支払いを行い、役場で手続きをしていただいた後、還付します。

グリーンサポートセンター運営事業

問 28年度の事業実績は。

カップリングパーティー

答 カップリングパーティー、婚活イベントなど開催しています。それがきっかけで今年の秋から来春にかけて5組が結婚されると聞いています。



カップリングパーティーの様子

バス借上料補助

問 ①バスの借上げ料金が値上りしているが、補助額の考え方は。②28年度の実績は。

答 ①26年度に見直しをしていますし、各団体、自治会等に話をして、一部

自己負担いただきながら利用されていると考えています。

②26件、計114万5千円の補助金を支出しました。

病後児保育事業

問 認定こども園で29年4月から事業を開始しているが、利用人数は。

答 現在までに、25名以上の病後のお子さんが利用していると聞いています。



認定こども園病後児保育室

有害鳥獣駆除

問 28年度の捕獲実績は。

答 ヒグマ2頭、鹿187頭、カラス427羽、アライグマ6匹などとなっています。

起業家支援奨励事業

問 28年度の起業家支援の実績は。

答 制度内容は、新規開業は上限300万円、新商品開発では上限30万円となっています。28年度では、新規開業2件、計600万円を助成しています。

義経の里御所の利用状況

問 御所の利用実績、予約期間などは。

答 304件、延べ1,573人、約336万円の収入となっています。

4月～12月下旬まで利用ができ、夏休み期間は、ほぼ100%の稼働率となっています。

予約については、6カ月前から可能です。



義経の里御所の室内

観光情報センター

問 過去に質問をした観光情報センター内の情報案内機に閉店している店舗が載っていた件だが、改善はされたのか。

答 現在、町ホームページと同様のものを見られるよう検討しています。また、古い情報については、正誤表を作成し張り出しています。

農産物ものづくり館(ゲンキッチン)

問 28年度は、420件、1,777人が利用されているが、初期の目的と現在の使われ方は。

答 鉄道廃止後の中心市街地の活性化とコミュニティの増加を目標とし、交流人口の拡大をはかることが初期の目的です。

利用者は、市街地の方よりも農村地域の方のほうが若干多いと受け止めており、その中で、地場産品の活用や販売につなげていくことなどで、目的にかなった利用がされていると考えています。

住宅新築助成事業

問 28年度からの新規事業だが実績は。

答 事前届出は8件ありましたが、年度内に完成した6件に440万円を助成しています。

食物アレルギー対策

問 学校給食共同調理場での食物アレルギー対策は。

答 26年度から食物アレルギーの対応を



アレルギー食調理室(学校給食共同調理場)

ています。現在では、小学生8人分のアレルギー対応食を調理しています。

国民健康保険病院事業会計

問 ジエネリック医薬品 28年度のジエネリック薬品の取り扱いはいは。

答 数量割合では33.19%がジエネリック薬品となっています。また、従前よりも薬局の判断でジエネリック薬品に切り替えやすくなっていますので、使用割合は増える見込みです。

後期高齢者医療特別会計

保険制度について

問 新たに本制度に加える方への保険料の説明、周知方法は。

答 窓口で保険証を交付する際、案内用のパンフレットを使い説明して渡しています。また、保

険料も納付方法等を説明しています。

反対討論 阿保委員

①年齢で区切り負担増を押しつける制度、②制度導入以来4回の保険料増、③新規加入者から戸惑いの声があること、④29年度から特例軽減の一部打ち切りがされています。

現制度の大幅な改善、本制度に代わる医療保険制度の設立を願ひ、決算に反対します。

採決の結果

賛成者9人、反対者1人で認定されました。

写真で見る議員活動

由仁町議会視察来町 8月1日

○移住・定住促進事業について



全道議会広報研修会 8月22日



人の波運動 9月22日



十勝議長会議員研修会 11月7日



町民植樹祭 10月15日



議会についての ご意見をお寄せください

「ほんべつ議会だより」を見て議会に対する
ご意見やご希望など、どんなことでも結構です。

どうぞ議会事務局までご連絡ください。

TEL 22-8123/FAX 22-2147

議会用語の解説

《条例》

地方公共団体が自治立法権に基づいて定める自主法のことです。

条例の制定、改廃は原則として議会の議決により成立し、町長の公布により効力が生じます。

条例案の議会への提案権は、町長、議員の双方が有しています。

《専決処分》

議会の議決または決定すべきことについて、町長が議会に代わって処分することです。

専決処分ができるものは、議会を招集する時間の余裕がない場合など（地方自治法第179条）と、議会があらかじめ指定したものの（地方自治法第180条）があります。

法179条の規定により専決処分を行った場合、議会では承認、不承認の決定を行います。法180条については、報告のみ行われます。

委員会レポート

総務

常任委員会

調査日／平成29年9月12日

○国民健康保険制度改正の概要について

平成30年4月から新たな国民健康保険制度が始まります。持続可能な医療保険制度を構築するため、財政基盤の安定化、負担の公平化、医療費適正化の推進を図るものです。

- ・大きな変更点など

- ①北海道が財政運営の責任主体となります。
- ②資格管理が市町村単位から北海道単位へ変更されます。
- ③賦課方法の変更や、保険料率の改正等は今後公表予定です。

まとめ

新しい国民健康保険制度に伴い、一人当たりの保険料は平均で約4万円(年間)の増が見込まれています。このことから、町民の皆

さんには、賦課方法等、窓口での相談はもちろん、町広報での周知、要請に応じた各自治会単位で説明を行う等、丁寧な対応が必要と思います。

○パークゴルフ場の運営状況について

現在、本別町には、太陽の丘パークゴルフ場、弥生コース、義経の里パークゴルフ場、勇足銀河コース、仙美里天の川コースパークゴルフ場の5つのパークゴルフ場があり、その中で太陽の丘パークゴルフ場が有料となっています。

平成28年度の利用者数は、7,625人となっております。収入は約121万円でした。

維持管理は委託(太陽の丘と弥生コースの委託料約370万円)と直営で行っています。

まとめ

町の体育施設は、町民の皆さんの健康向上の推進力になっていきます。子どもから大人まで広く

利用しやすいよう、料金体系を含め検討を行うことも必要と思います。



太陽の丘パークゴルフ場

産業厚生

常任委員会

○台風被害に係る復旧状況調査について

調査日／平成29年9月11日

平成28年8月17日から8月30日までの台風に伴い、農地、町道などに災害が発生しました。

1. 農地・農業用施設災害復旧事業(激甚指定)
- (1) 農地災害復旧
面積…2.72ha
(東本別・2圃場)

補助率…96.9%
受益者負担…3.1%
(2) 農業用施設災害復旧
排水路…延長56m
(西勇足)

- 補助率…99.3%
- 本別町負担…0.7%
- (3) 鹿柵の復旧状況
被災延長7.1km中、平成28年度末までに3.8kmを復旧。平成29年度以降に3.3kmを実施予定。

まとめ

東本別の圃場では、流入した土砂(3,440㎡)や流木(880㎡)を取り除く工事が行われました。鹿柵復旧では、鹿柵管理組合受益者の人手不足などにより、鹿柵の修繕・管理が心配されることについては、管理組合と協議をし、対応していくとのこと。

2. 道路、河川、橋梁に関する被害状況について

- (1) 公共土木施設災害復旧事業(国庫負担事業)
道路災7カ所、河川災1カ所、橋梁災1カ所の9カ所を復旧しており、平成28

年度は、道路2カ所、河川1カ所、橋梁1カ所の4カ所を実施しています。また、残りの道路5カ所は、平成29年度に行います。現在3カ所が完了し、残り2カ所(仙美里環状道路、明美・仙美里間道路)についても年内に完了予定となっています。

まとめ

道路や河川などのパトロールを実施されていますが、被害を拡大させないよう、日頃から点検、整備を図るよう望みます。



台風被害復旧状況を調査(東本別)

議会日誌

〔 8 月 〕



- 1日 由仁町議会視察来町
- 7日 広報広聴常任委員会
- 9日 議員会役員会、第4回臨時会、議員協議会、議員会総会、産業厚生常任委員会（陳情付託案件）
- 16日 議員協議会
- 17日 産業厚生常任委員会（陳情付託案件）
- 21日～22日 全道議会広報研修会（札幌市）
- 23日 産業厚生常任委員会（陳情付託案件）
- 31日 産業厚生常任委員会（陳情付託案件）

〔 9 月 〕



- 11日 産業厚生常任委員会所管事務調査
- 12日 総務常任委員会所管事務調査
- 14日 産業厚生常任委員会（陳情付託案件）、議会運営委員会
- 20日 池北三町行政事務組合議会（足寄町）
- 22日 産業厚生常任委員会（陳情付託案件）、人の波運動
- 29日 議会運営委員会、池北三町議長情報交換会

〔 10 月 〕



- 2日 総務常任委員会行政視察研修勉強会
- 3日 議員会役員会、第3回定例会開会、議員協議会、本別町林活議連役員会
- 6日 議会運営委員会
- 7日 帯広市本別会
- 11日 本会議（一般質問）
- 12日 本会議（議案審議、決算提案）
- 13日 本会議（決算提案、議案審議）、広報広聴常任委員会
- 15日 町民植樹祭
- 17日 総務・産業厚生常任委員会決算審査勉強会
- 18日 各会計決算審査特別委員会
- 19日 各会計決算審査特別委員会
- 20日 産業厚生常任委員会行政視察研修勉強会
- 27日 広報広聴常任委員会
- 30日 議員協議会

〔 11 月 〕



- 1日～2日 総務常任委員会行政視察研修（栗山町）
- 6日 産業厚生常任委員会所管事務調査
- 7日 十勝町村議会議員研修会（更別村）
- 8日 広報広聴常任委員会
- 9日～10日 産業厚生常任委員会行政視察研修（奈井江町）
- 13日～15日 議会運営委員会行政視察研修（当別町、新篠津村）
- 16日 産業厚生常任委員会、議員協議会
- 17日 広報広聴常任委員会
- 21日～22日 第61回町村議会議長全国大会（東京都）
- 27日 一部事務組合議会（帯広市）

ユーピーレイク



コミュニケーションが大事です



マイク・フィリップさん
（オーストラリア・ミッチェル）

今回は、姉妹都市のミッチェルから国際交流員として滞在（9月20日～11月15日）しているマイクさんにお話を聞きました。平成3年の姉妹都市調印式には旧キルモア町長（平成6年にキルモアと周辺市町と合併しミッチェル市となる）をされていました。滞在中は認定こども園、小中高校生の英語授業の支援、町民や団体を対象とした英会話講座など各イベントに参加して交流されています。

傍聴のきっかけは、国際交流協会の安藤さんから議事があることを聞き、オーストラリアの議会との違いに興味があったことから。感想は「オーストラリアでも情報の公開に努めており傍聴できるようになっています。ミッチェルでは本別と同じように4年に1回選挙が行われ、生業を持ちながら議員活動をしています。国でも、小さい町であっても共通しているのはコミュニケーションが大事です。」

また、ミッチェル市では議員選挙の際に候補者と市民が意見を交わす場があり、誰でも自由に質疑や討論ができるそうです。驚いたのは、その議員の中から年1回市長が選ばれるとのこと。マイクさんは建物が使用する電力を計算し、その電力を販売するエンジニアとして働いたのち、電気機器の会社やパッケージを取り扱う会社を立ち上げて40年自営をされています。趣味は釣りとバイクが好きで、1978年製の大型バイクに乗り、1948年製のバイクも整備しながら大事にしているそうです。優しい声と笑顔の素敵な方でした。

12月定例会は 5日から予定しています

私たちの住む町の議会です
どなたでも自由に傍聴できます
あなたも傍聴してみませんか

